

上宮西大門の緊急改修事業御奉賛のお願い

小倉山の八幡鳥居をくぐると、目の前には上宮神域へ続く西大門が現れます。桃山文化の華麗な唐破風とともに随所に鮮やかな色彩と細かな彫刻が施された、朱塗りの美しい神門です。この西大門はまさに参拝者の上宮への参入口であり、宇佐神宮の恒例祭であります。夏の御神幸祭(夏越祭)や十月の仲秋祭(放生会)は、西大門を勇壮な神輿が通ることにより始まります。

御由緒は古く江戸時代の元文五年(七四〇)に造営され、昭和十八年(九四三)には、部改修(脇門が増設)されて今日に至ります。特に西大門は、広大な境内に点在する社殿群の中でも、上宮正面の勅使門(南中楼門)とともに宇佐神宮を代表する建造物であり、貴重な大分県指定有形文化財であります。

然るに今般、境内建物の総合調査を実施したところ、檜皮葺き屋根をはじめ建物全般の劣化損傷(塗装剥落、飾金具腐食等)が著しく、さらに白蟻の被害については躯体部分の広範囲に及んでいます。この現状を放置すれば、将来的には建物の倒壊も危惧される重大事であることから、緊急且つ大規模な解体修理が必要な事態となっております。

上宮神域への一般参入口はこの西大門の他になく、長期に亘る改修工事ともなれば、祭典や参拝者への影響は避けられず、多額の経費と相当な期間を要する、一大事業であります。

つきましては、現在、この西大門が危機的な状況に立ち至っておりますことに鑑みまして、御参拝の皆様をはじめ志篤き御崇敬各位には、右諸事情御賢察の上、何卒、本事業に対し格別の思召しを以て、御浄財の御寄進を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、西大門改修工事に付随して、左記の諸事業を併せて実施致したく存じますので、御協力の程宜しくお願い申し上げます。



臨時奉幣祭(勸祭)

御崇敬奉賛者 各位

宇佐神宮宮司 小野 崇之

記

一、募財目標額

三億円

二、事業内容

- ① 西大門本体関係 躯体調査、解体組立、屋根葺替え、塗装、金具新調他
- ② 脇門他工作物関係 屋根葺替え、塗装、金具新調他
- ③ 西大門前参道関係 参道玉石補修、同石張り拡張工事他

三、事業期間(予定)

令和三年四月から約四年間

四、奉賛金(寄付金)について

一〇・三〇〇〇円からお願い申し上げます。(少額でも受付致します。)

五、特別奉賛待遇

・奉賛金 貳拾万円以上(分納可)

臨時奉幣祭(勸祭)御案内・特別記念品贈呈・芳名板頭彰

・同 壹拾万円以上

特別記念品贈呈・芳名板頭彰

・同 壹万円以上

記念品贈呈・芳名板頭彰

六、奉賛金の受付

・銀行振込の場合は、左記口座を御利用戴くとともに、御手数ですが必ず宇佐神宮宛に振込人の連絡先(住所氏名等)をお知らせ願います。

(振込先)大分銀行宇佐支店、普通口座七五五八〇〇四

宗教法人 宇佐神宮

・現金封筒の場合は、左記住所までお送り願います。

〒八七二一〇一〇二 大分県宇佐市南宇佐二八五九

宇佐神宮(〇九七八一三七七〇〇〇一)



昭和初期の西大門



御神幸祭(夏越祭り)